

## 抗 RuvA 抗体, ウサギ血清

61-005 100ul

大腸菌 RuvA タンパク質は、相同組換え、組換え修復の後期過程で、組換え中間体であるホリデイ構造に特異的に結合し、RuvB モータータンパクと複合体を形成して、ホリデイ交叉点を ATP 水解のエネルギーを利用して移動させ、ヘテロ 2 倍体領域を拡大する。水溶液中では 4 量体を形成し、ホリデイ交叉の十字架型 DNA に上下両方からサンドウィッチするように結合する (文献 1、2)。

この抗体を用いたウエスタンブロットリングを大腸菌抽出液で行い RuvA に相当する 22kD のバンドが得られた (図 1)。

### 用途:

- 1) ELISA
- 2) ウエスタンブロットリング (x 3,000 希釈) (図 1)

他の用途は試されていない。

**抗原:** 精製全長リコンビナント RuvA タンパク質 (文献 2)

**形状:** 0.05% sodium azide 添加血清

**保存:** 4°C で出荷、-20°C 保存 (長期は-70°C)

**データリンク:** Swiss-Prot [P0A809](#)

### 文献:

1. Shinagawa H and Iwasaki H (1996) "Processing the holliday junction in homologous recombination." *Trends Biochem Sci* **21**:107-111 PMID: [8882584](#)
2. Iwasaki H *et al* (1992) "Escherichia coli RuvA and RuvB proteins specifically interact with Holliday junctions and promote branch migration." *Genes Dev* **6**:2214-2220 PMID: [1427081](#)

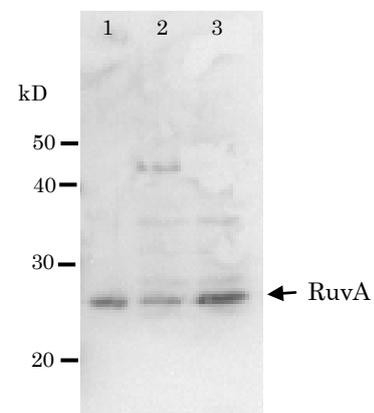


図 1 この抗体を用いた RuvA (22kD) タンパク質のウエスタンブロットリング

lane1: RuvA タンパク質 0.8ng

lane2: 大腸菌 AB1157 株粗抽出液

lane3: 大腸菌 AB1157 *lexA* 変異株粗抽出液

RuvA の発現は *lexA* 変異によって増強された。

### 関連製品:

[01-007](#) *E. coli* RuvA protein

[01-009](#) *E. coli* RuvB protein

[01-011](#) *E. coli* RuvC protein

[61-007](#) anti-RuvB antibody, rabbit polyclonal

[61-009](#) anti-RuvC antibody, rabbit polyclonal